

Hockey World League Semi - Final (Johannesburg/RSA)

大会名	Hockey World League Semi - Final	日付	2017年7月20日
場所	Wits University, Parktown (RSA)	天候	晴れ
試合	5～8位決定予備戦	通算結果	3勝1分2敗

Country	RESULT	Country																
日本 JAPAN 世界ランキング11位	2	0 インド INDIA 世界ランキング12位																
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td>1P</td><td>1</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>2P</td><td>1</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>3P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>4P</td><td>0</td><td>-</td><td>0</td></tr> </table>			1P	1	-	0	2P	1	-	0	3P	0	-	0	4P	0	-	0
1P	1	-	0															
2P	1	-	0															
3P	0	-	0															
4P	0	-	0															

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	浅井 悠由	
✓	3	錦織 えみ	
	4	及川 菜	
✓	6	内藤 夏紀	
✓	7	一谷 麻実	
✓	10	湯田 葉月	
✓	11	一谷 奈歩	
	6	野村 香奈	
	6	永井 葉月	
✓	18	真野 由佳梨	C
	6	加藤 彰子	
✓	20	清水 美並	
✓	21	永井 友理	
	6	狩野 真美	
✓	23	瀬川 真帆	
	7	河村 元美	
		27 田中 秋桜	GK
監督	アンソニー ジェイムス ファリー		
UMPIRE	KANG Hyun Young (KOR)		

Start	No.	Name	備考
	6	KAUR Navjot	
	23	KAUR Gurjit	
✓	3	EKKA Deep	
✓	4	MONIKA	
	4	KHOKHAR Reena	
✓	8	PRADHAN Mikki	
✓	11	SAVITA	GK
		13 ETIMARPU Rajani	GK
	5	RANI Ritu	
✓	16	KATARIYA Vandana	
✓	19	TOPPO Namita	
✓	22	BARLA Anupa	
	7	YADAV Renuka	
✓	26	LAKRA Sunita	
✓	27	PUKHRAMBAM Sushila	
✓	28	RANI	C
	7	DUBEY Preeti	
✓	31	MINZ Lilima	
監督	MARIJNE Sjoerd		
UMPIRE	LIU Xiaoying (CHN)		

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	7	野村 香奈	PG	1-0
JPN	29	一谷 奈歩	PG	2-0

Country	Min	Name	Action	Score

1 Q
日本のセンターパスにより前半戦が開始される。立ち上がり、日本はインドの右サイドからの攻撃からサークル侵入され、シュートを打たれる場面があったが、その後は、落ち着いて相手のプレスに対応し、ボールポゼッションを高める。7分、日本は左から右サイドへ素早くボールを展開し、サークルトップ付近でボールをレシーブした#25河村がドリブルでサークル侵入。相手ディフェンダーのインターフェアのファウルを誘い、PCを取得、そのチャンスに#16野村が見事なドラッグシュートを決める。その後も8分、10分にPCを取得するなど、再三チャンスを創るが惜しくもゴールを割ることが出来ず、第1クォーター終了。

2 Q
第2ピリオドに入っても、日本は前線から激しいプレスを仕掛けインドの攻撃を封じ込む。また、アウトレットにおいては、コートを広く使った展開で揺さぶりをかけながらボールを前線に運びチャンスを創る。28分、ターンオーバーからトップフォワードの#22狩野にボールが繋がり、鋭いドリブルでサークルへ侵入したところを相手がファウル、PCを取得する。インドの守備陣形を徹底的に分析していた日本は、パスサー返しのバリエーションを使う。それが見事に機能し、パスサー#11一谷奈歩が落ち着いてシュートを決め、2点差とする。このまま、前半戦が終了。

3 Q
更に追加点を狙う日本は、後半に入っても攻撃の手を緩めない。34分、左サイドの23m付近でボールをレシーブした#17永井葉月はそのままサークルへ侵入しベースラインを回り込みながらゴール前へパス、絶好の得点チャンスであったが、インドGKの好セーブにより阻まれる。その後も日本は立て続けにPCを取得するなど、追加点のチャンスを掴むが、惜しくも枠を捉えきれない。第3クォーター終盤はインドに攻め込まれる時間帯が続くが、日本の守備陣が落ち着いて対処し、決定的なチャンスを創られることなく終了。

4 Q
なんとしても1点を返したいインドは、日本のアウトレットからのパス展開を封じ込めようと前線から激しいプレスを仕掛ける。そのインドの激しいプレスに慌てることなくボールを運ぶ日本であったが、50分、インドは日本のアウトレットのミス突き、日本の左サイドをドリブルで崩し、ゴール前にセンタリング。それをゴール前に詰めていたインド選手にタッチシュートを決められる。しかし、日本はすぐさまビデオ判定を要求し、バックusstiックを主張。その主張が認められ、ノーゴールの判定となる。その後は両者一進一退の攻防が続く中、試合終了。宿敵インドに2-0で快勝した。

この結果により、日本は5・6位決定戦へ進出することが決まった。また、来年(2018年) ロンドンに於いて開催されるワールドカップの出場権を獲得した。

日本	12	PC数	1	
	6	シュート数	6	インド